

高等部第1・2学年 総合的な探究の時間学習指導案

学 校 名	尾道特別支援学校しまなみ分校
日 時	令和3年12月8日(水) 9:45 ~ 10:35
場 所	3階 高等部 1・2-1 教室
学 部	高等部
対 象 者	第1・2学年
人 数	8名
指 導 者	T1教諭 永井 のぞみ T2教諭 東 賢治

- 1 単元名 「ぼくたち、私たちの因島、瀬戸田②
～『地球に優しい分校』の生徒として、自分たちに何ができるか～」

2 単元設定の理由

○生徒観

本学級は、1年生4名と2年生4名が在籍する知的障害単一複式学級である。8名中1名が本校中学部、7名が区域内の中学校から進学してきた。人見知りをする生徒が多いが、同じ中学校出身の生徒がクラス内にいたこともあり打ち解けるのは早く、現在ではこちらが促さなくともお互いが声を掛け合いながら活動をする場面が増えてきた。

8名とも、概ね口頭指示を理解することができる。また、全員言葉での意思疎通はできるが、言葉の意味や意図が分からない、相手の気持ちを推し量ることが難しいなど、コミュニケーション能力の乏しさから話し合い活動を苦手とする生徒が多い。

生徒達は、自分が考えていることやイメージしていることを言葉等の方法を使って人に伝える力が弱く、伝わっていないと感じると自信がなくなり、より一層発信ができなくなる。そのため、教師の指示通りには動けるが、自分で考えたり確認したりしながら次の行動に移せる生徒は少ない。また、日々の学習や経験を般化させることが難しく、その場では学習に生かせたり修正できたりしても、時間が経つと忘れることが多く、定着には時間を要する。

タブレット型端末の操作の習得は早く、当初は手順書を配付して操作を促していたが、今では操作を覚えた生徒が困っている生徒に教えたり、生徒自身が新たな機能を発見したりと、徐々に使いこなしている。ICT機器の活用には、1年多く学習した2年生が、1年生の良い手本となっている。学年が異なる生徒が混合しているが、2年生が先輩らしい振る舞いをして1年生を引っ張っていつてくれたり、時には1年生が規律を正してくれたりし、お互いに意識し合って成長を促している。

○単元観

高等学校学習指導要領（平成30年度告示）において、総合的な探究の時間の目標は、

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

であり、これを基に本校の総合的な探究の時間における全体計画の目標を、

- (1) 横断的・総合的な学習や体験的・探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- (2) 多様な学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。
- (3) これらを通して、自己の在り方、生き方を考えることができるようにする。

としている。

これを踏まえ、これまでの総合的な探究の時間では、「ぼくたち、私たちの因島、瀬戸田①」という単元で、因島と瀬戸田で有名な「はっさく」と「レモン」について栽培が盛んな理由についてグループで調べ学習をしてきた。学習の結果として、はっさくやレモンづくりにこの地域の環境が最適であることが分かった。それを受け、栽培を続けるためにはその環境を守っていくことが大事であること、特産品を全国にアピールするために広く宣伝することや商品の販売を活発に行うこと等、生徒自身から今の環境を守り更に良くしていくための様々な意見が挙がった。本単元は、その意見やアイデアを実行することが、自分以外にも、友達や地域の人、さらには日本や世界に影響していくことに気付かせるため、SDGs（2016年からスタートした、2030年までに目指す持続可能な開発目標）の17項目に触れ、環境について、生徒がより深く考えることができるようにする。学習を進めていくにあたっては、インターネット検索や本からの抜粋、動画視聴での理解を促すが、インターネットの情報のみに頼ってしまいがちな現代だからこそ、「人から話を聞く」「質問やインタビューで情報を集める」といった情報収集の方法も取り入れる。このことから生徒は、実際に相手から情報を得ることの良さを学ぶと同時に、コミュニケーション能力の向上も期待できると考える。

○指導観

学習への意欲や生徒同士の一体感をもたせるため、本単元では「地球に優しい分校にしよう」というテーマを掲げ、分校のできるSDGsの取組のアイデアを考え、実践させる。学習中は、「自分にできることは何か」を常に生徒に問いかけるようにし、アイデアが身近なものとなるようにする。

授業を進めていくにあたって、まずは漠然としているSDGsの内容を少しずつ理解していく必要がある。そこで、①アイデアのイメージをもたせるために、SDGsの考え方を取り入れている企業、施設、学校等についてインターネットで情報を集め、事例集ポスターを作成させ、今後の学習の手引きとする。②SDGsに取り組まれている企業にリモート授業をお願いし、内容について説明していただき、取組をより身近に感じる。③因島総合支所福祉課から、現在抱えているもしくは今後予想できる因島の課題について話を聞く。④学習してきたことを生かし、自分たちが取り組めるアイデアを考え、実行する。この4段階を経ていくことで、地域や家庭といった自分たちの「身近」の中に

SDGs の取組があることに気付かせ、今後、自分たちが環境を守るためには、どのような工夫が考えられるか、また、それは実施可能なことかなどについて深く考えさせたい。

また、グループ活動において主導は生徒とし、教師はグループの一員として参加する。方向性がずれるなど、グループ内の話し合いが円滑に進んでいない場合は助言をしていくが、アイデアを深めたり ICT 機器の操作をしたりすることについては、極力生徒同士で話し合っ解決できるようにしていく。このことを通して、生徒同士の対話的な活動や学習してきた機器の適切な操作の定着が期待できる。グループ分けは、全員で話し合いをさせ、いくつかのアイデアの中から、どれを担当したいか希望を募り決めさせる。各グループのリーダーを中心に授業を進行させ、お互いが意見を出し合い、認め合い、協働していくことを意識させることで、統率力や協調性を養うことを目指したい。

3 育成を目指す資質・能力

- ・情報活用能力 (①ICT 機器を適切に扱う。②調べた事柄をまとめ、共有する手段を身に付ける。)
- ・他者と協働する力 (①グループの話し合いに参加する。②人の話を聞き、受け止める。)
- ・思考力、判断力、表現力 (①学習してきたことを基に案を考える。②アイデアを形にしていく。)

4 単元の目標

- ・自分たちの「身近」の中に SDGs の取組があることに気づき、因島が様々な人々によって支えられていることを理解する。
- ・環境を守るために、「地球に優しい分校」の生徒としてできることを考え、発信したり、実行したりすることができる。
- ・自分の役割を理解し、友だちと協働的に課題を解決しようとする。

5 指導計画【 全 10 時間 】

第 1 次	SDGs 取り組み事例ポスター作成	2 時間
第 2 次	因島における SDGs に関する課題について	3 時間
第 3 次	「地球に優しい分校」計画と実行	5 時間 (3 / 5 本時)

6 本時の目標

○全体の目標

- ・「地球に優しい分校」に係る学習活動において、グループでの自分の役割を理解し、友達に意見を伝えたり、相手の意見を聴いたりしながら、協力して活動に取り組むことができる。

○個々の目標

生徒	これまでの様子	目標
A	○発言力があり、質問をしたり自分の意見を出したりできる。 ○理解ができていないことには、「分かり	○グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができる。

	<p>ません。」と伝えられる。</p> <p>○ICT 機器の扱いに慣れてきている。</p> <p>○SDGs の項目を概ね理解しており，身近にできる取組を考えることができる。</p> <p>○特定の人としか話さなかったり，他人の意見を聞かずに物事を進めたりすることがある。</p>	
B	<p>○指示待ちになる事が多い。</p> <p>○タブレット型端末の利用も一人では難しい場面がある。</p> <p>○SDGs という言葉は知っているが，その取組を聞かれると答えることができない。</p>	<p>○自分がやるべきことを友達に聞き，協力してゴミ箱を作ることができる。</p>
C	<p>○「環境に優しい取組」という視点で自分の考えをタブレット型端末に入力することができる。</p> <p>○教師（大人）との1対1での会話が苦手で，自分から話しかけてくることは少ない。仲の良い友達同士では会話ができる。</p> <p>○自分の意思を伝えることが少なく，友達に流される傾向がある。</p>	<p>○自分の役割を探し，協力して回収ボックスを作ることができる。</p>
D	<p>○質問の意図を理解すると，自分の考えを伝えることができる。</p> <p>○友達の困り事に気付くことができ，声を掛けることができる。</p> <p>○SDGs の項目について概ね理解しており，身近にできる取組を考えることができる。</p> <p>○文字の読み書きに自信がないため，タブレット型端末への入力には消極的である。</p> <p>○一人で物事を進めていくことに不安がある。</p>	<p>○次の工程を考え，グループ内で意見を発言できる。</p>
E	<p>○行動力があり，友達への声掛けも多く，率先して活動するリーダー的存在である。</p> <p>○報告・連絡・相談ができているため，ミスが少ない。</p>	<p>○グループの様子を見ながら，活動の指揮を取ることができる。</p>

	<p>○インターネットや本等の多大な情報から必要な情報のみを抜き出すのが苦手である。</p> <p>○自分の趣味に考えが偏ってしまう傾向があり，意見のスケールが大きくなってしまう。</p>	
F	<p>○マイペースである。集団での活動に慣れておらず，人との距離感や関わり方を模索している。</p> <p>○ICT 機器の扱いに慣れており，新しい機能も自分で発見できる。</p> <p>○SDGs の項目は概ね理解しているが，「身近」を考えることが難しく，何事もスケールが大きい。</p>	○グループの意見を聞きながら，分かり易いポスターを作ることができる。
G	<p>○口頭指示での理解が概ねできており，状況の把握，判断は早い。</p> <p>○ICT 機器の活用は慣れており，操作を人に教えることができる。</p> <p>○SDGs の項目を概ね理解しており，身近にできる取組を考えることができる。</p>	○グループで協力して，リサイクルを意識した材料でゴミ箱を作ることができる。
H	<p>○グループ活動には意欲的である。</p> <p>○今まで学習してきたことを生かして，アイデアや意見を言うことができる。</p> <p>○自分の考えを言葉にして人に伝えることができるが，同じ文言を繰り返し言ったり会話が一方的になったりする。</p> <p>○指示待ちになる事が多い。</p>	○グループの意見を聞きながら，分かり易いポスターを作ることができる。

7 準備物

TV×2，HDMI×2，AppleTV×2，プリンタ

8 学習過程

学習活動	学習課題 (□) 支援 (・) 評価 (○)								
	A	B	C	D	E	F	G	H	全体
1 あいさつ (1分)	姿勢を正し、語先後礼をする。								日直が号令をかける。
2 前時の振り返りと本時の説明 (1分)	本時の流れとタイムスケジュールを知る。								全体のリーダーに、本時の活動内容とタイムスケジュールを確認させ、必要に応じて助言をする。
		・人の話を聞くよう声を掛ける。 (T2)				・人の話を聞くよう声を掛ける。 (T2)			
3 グループでの活動 (40分)	タブレット型端末・プリンタ等の ICT 機器や、画用紙・マジック等の文房具を使い、各グループで活動する。								感染症対策を考慮した座席の移動を促す。
	ポスターグループ (節電・節水を促すポスターを作る)	ゴミ箱グループ (玄関にゴミ箱を設置する)	もったいない問題グループ (不要な紙の回収ボックスを作る)	もったいない問題グループ (不要な紙の回収ボックスを作る)	もったいない問題グループ (不要な紙の回収ボックスを作る)	ポスターグループ (節電・節水を促すポスターを作る)	ゴミ箱グループ (玄関にゴミ箱を設置する)	ポスターグループ (節電・節水を促すポスターを作る)	
		・前時でまとめた ToDo リストを確認させる。 (T2)	・前時でまとめた ToDo リストを確認させる。 (T1)		・前時でまとめた ToDo リストを確認させる。 (T1)		・グループの状況を見るよう促す。 (T2)	・前時でまとめた ToDo リストを確認させる。 (T1)	制作物を作成する「目的」及び「相手意識」を再確認させる。

<p>・グループの状況を見るよう促す。(T1)</p>	<p>・手が止まっていたら声を掛ける。(T2)</p>	<p>・手が止まっていたら声を掛ける。(T1)</p>	<p>次の工程を考え、グループ内で意見を発言できる。</p>	<p>・グループの状況を見るよう促す。(T1)</p>	<p>グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができる。</p>	<p>グループで協力して、リサイクルを意識した材料でゴミ箱を作ることができる。</p>	<p>・手が止まっていたら声を掛ける。(T1)</p>	<p>必要に応じてICT機器を活用するよう促し、機器の操作に困った時には、できる限り生徒同士で解決するよう、手順書を見たり教え合ったりするよう声を掛ける。</p> <p>生徒同士がお互いの困り事に気付けるようにする。</p>
<p>グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができる。</p>	<p>自分がやるべきことを友達に聞き、協力してゴミ箱を作ることができる。</p>	<p>自分の役割を探し、協力して回収ボックスを作ることができる。</p>	<p>・「どう思う?」「どうしたい?」といった意思を確認するような発問をする。(T1)</p> <p>○次の工程を考え、グループ内で意見を発言できたか。</p>	<p>グループの様子を見ながら、活動の指揮を取ることができる。</p>	<p>・周囲の動きに目が行くよう助言をする。(T1)</p> <p>・ポスターに書く言葉、色、イラスト等、必要に応じて助言をする。(T1)</p>	<p>・周囲の動きに目が行くよう助言をする。(T2)</p> <p>・一人で活動していたら、友達を意識するよう促しをする。(T2)</p>	<p>グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができる。</p>	

	<p>・「分かり易さ」を意識させるために、下書きをタブレット型端末で作成し、比較させる。(T 1)</p> <p>○グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができたか。</p>	<p>○自分がやるべきことを友達に聞き、協力してゴミ箱を作ることができたか。(T 2)</p> <p>・道具を安全に使えるよう、協力を意識させる。(T 2)</p>	<p>○自分の役割を探し、協力して回収ボックスを作ることができたか。</p> <p>・道具を安全に使えるよう、協力を意識させる。(T 1)</p>	<p>・道具を安全に使えるよう、協力を意識させる。(T 1)</p>	<p>・適宜、グループの状況を確認するよう促す。(T 1)</p> <p>○グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができたか。</p>	<p>・「分かり易さ」を意識させるために、下書きをタブレット型端末で作成し、比較させる。(T 1)</p> <p>○グループで協力して、リサイクルを意識した材料でゴミ箱を作ることができたか。</p>	<p>○グループの意見を聞きながら、分かり易いポスターを作ることができたか。</p>		
<p>4 次時に 向けて (5分)</p>	<p>本時の進捗状況を振り返り、次時に行う「ToDo リスト」を各グループで作成する。</p>								<p>・正確に入力ができなかった言葉については、メモ書きを渡し、それを見ながら修正するよう促す。(T 1)</p>
		<p>・手が止まっていたら、入力を促す。(T 2)</p>			<p>・最後の報告に向けて、報告内容をグループに相談するよう促す。(T 1)</p>				

5 振り返り (2分)	各グループの進捗状況と次時の活動内容をリーダーが発表する。								座席の移動をさせる。
6 あいさつ (1分)	姿勢を正し、語先後礼をする。								グループリーダーが言葉に詰まった時には、グループ内で助け合うよう促す。

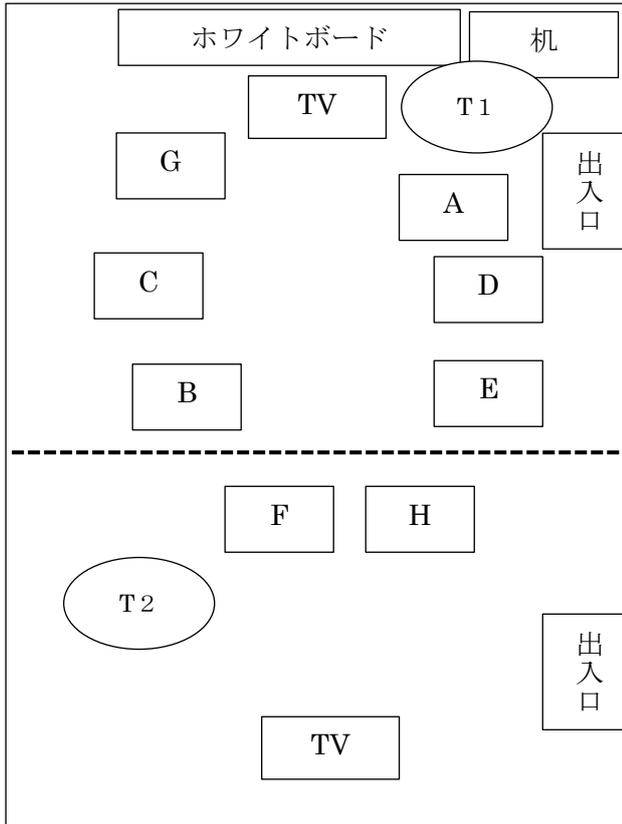
9 評価の観点

- ・本時の目標は達成できたか。
- ・生徒が主体的に活動できる環境や支援が整っていたか。

10 年間指導計画（別紙）

11 教室内配置図

一斉学習



グループ学習

